



投稿

硫黄島まるごと体験「自然の学校in三島村」

～投稿者：枕崎青年会議所 松野下晃司さん

■青少年の健全育成を目的に始まった青少年研修スクールも今回で30回目を迎えました。今年度は、フェリーみしまの実証運航に合わせて硫黄島で「自然の学校in三島村」を7月10、11日の2日間にわたって開催しました。参加したのは、市内小学生の29人とボランティアスタッフ、主催者など合わせて58人。

島では、島民のアドバイスをもらいながら船釣りやシノーケリングなどを体験。そして硫黄島の名所、海中温泉「東温泉」で汗を流すなど、普段体験することのできない大自然を満喫しました。また、島民とのジャンベによる交流会もありました。

参加した揚野優平くん(枕崎小6年)は「海がきれいできらいな海を取り戻そう」と話していました。



犯罪を防止する明るい社会を築くため ～社会を明るくする運動

■7月は「社会を明るくする運動」強調月間でした。この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、明るい社会を築こうとするものです。

これに伴い、枕崎市保護司会が7月1日に市役所を訪れ、法務大臣のメッセージを神園市長に伝達しました。

また、7月11日には、市内スーパー前で街頭キャンペーンを行い、チラシや啓発グッズを配布しながら、この運動の意義をPRし、市民の理解を呼びかけていました。

きれいな海を取り戻そう

～枕崎の海を守る会が藻場・干潟保全活動

■枕崎の海を守る会(松野下耕作会長)が今年の3月、海の環境保全活動を目的に設立されました。会員は、地元近海漁師や漁協職員など30名。今回、初めての活動として、トサカノリ藻場の保全活動を7月16日に実施。枕崎沿岸の4カ所に、卵を持ったトサカノリ約400gを入れた網500袋を設置しました。

松野下会長は「トサカノリの水揚げ量は近年急激に減っている。昔の海は、潜ると魚やノリでいっぱいだった。今は磯焼けなどの原因なのか魚の寄り付かないところが多い。昔の海に少しでも近づけたら」と話していました。



豊巻浩司さんが九州大会優勝の快挙

～九州ソフトテニス選手権大会 ダブルス45歳の部

■豊巻浩司さん(塩屋南町)が5月22日、熊本県八代市で開催された九州ソフトテニス選手権大会のダブルス45歳の部で優勝しました。この大会は、九州各地から強豪が集まる九州随一の大会です。準決勝で大会4連覇中の宮崎県ペアを破り、決勝では昨年の西日本大会優勝ペアに逆転勝ちし、見事、九州ナンバーワンに輝きました。

また、5月15日に三重県四日市市で行われた全日本東西対抗大会では、西日本チームの一員として参加。3戦全勝し、チームの勝利に大きく貢献しました。さらに、5月30日に北九州市で行われた全日本シニア北九州大会のダブルス45歳の部でも優勝しました。今後の目標を聞くと「9月に開催される全日本シニア選手権大会で優勝することです」と話していました。がんばってください。



小学生が自然とふれあい環境を学ぶ

～花渡川上流で水生生物調査

■小学生を対象とした水生生物調査が7月26日、花渡川上流の金山浄水場取水口付近で行われました。この調査は、子どもたちに自然を肌で感じてもらいながら、川に住む生物の種類などを調べることで、川がどのくらいきれいなかが確かめることを目的に毎年行われています。

参加した13人の児童は、川に入って水中の石の裏にいた生物や岩陰に潜んでいる小魚を捕るなど楽しみながら調査を行いました。鮫島英作くん(桜山小5年)は「いろんな生物が思ったよりいっぱいいた。川はゴミもなくきれいだった」と話してくれました。



「R I Z E」が全国大会準優勝の快挙 ～全国こどもチャレンジカップヒップホップ部門

■NPO法人LCLの小・中学生7人組のヒップホップチーム「R I Z E」が7月10、11日の2日間にわたって神奈川県で行われた全国こどもチャレンジカップの高校生以下ヒップホップ部門で準優勝しました。その報告のため7月21日、市長を訪問しました。

リーダーの相良麻穂さん(桜山中2年)は「メンバーの1人が負傷するアクシデントがあったが、7人の心がひとつになれば、最高のパフォーマンスができた。準優勝が決まったときはみんなで“やったー”と叫んだ。でも優勝じゃなかった悔しさがあるので、もっと練習をして次の大会に臨みたい」と話してくれました。

個人の部でも宮下離さんが5位、平田理子さんが6位入賞を果たしました。おめでとうございます。

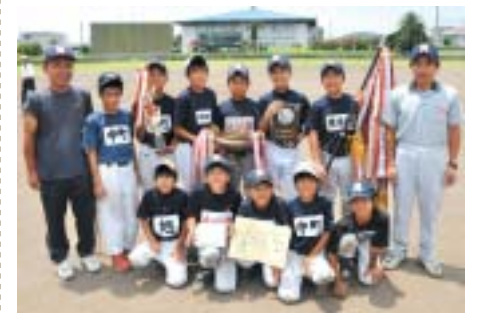


大海原で伝統「カツオ一本釣り漁」を体験 ～かつお釣り体験アドベンチャー

■かつお釣り体験アドベンチャーが7月22、23日の2日間にわたって行われ、市内の中学生9名が鹿児島水産高校の実習船「拓青」に乗船して黒島沖でカツオ一本釣り漁を体験しました。この事業は、伝統漁法であるカツオ一本釣りの体験を通して、心身ともにたくましい生徒を育てようとして毎年開催されています。

外海は揺れがあり、船酔いで苦しんだ生徒もいたものの、見事全員がカツオを釣り上げました。全体の釣果は、カツオやシイラなど50本ほどでした。

参加した下山峰斗くん(枕崎中1年)は「カツオは思ったより暴れて釣り上げるのが大変だった。いつも食べているカツオだけど、漁師の苦労がわかり、ありがたさがわかった。将来は漁師になりたい」と話してくれました。



優勝は東本町、港町、中町、恵比須町、西本町、旭町の混成チーム ～第55回枕崎市少年野球大会

■枕崎市少年野球大会が7月24、25日の2日間にわたって行われ、参加22チームが熱戦を繰り広げました。

決勝で延長戦を制し優勝したのは東本町、港町、中町、恵比須町、西本町、旭町の混成チーム。キャプテンの上島隆寛くん(枕崎小6年)は「優勝が決まるとみんな飛び上がって喜んだ。チームの絆で優勝できたと思う」と話してくれました。おめでとうございます。